

第21号

# 会報 こほく

滋賀県レイカディア大学同窓会湖北支部 発行責任者 桐畑 実 編集責任者 増田澄男



会場の「ドラゴンハット」は長浜ドーム同様、屋根付き屋内グラウンドで雨の心配もないコース、3コース設定され和気あいあいのうちに終了

## 第15回 県下全支部合同 親善グラウンドゴルフ大会開催

平成26年9月30日 於ドラゴンハット

女性の部

優勝 藤田恵子さん

準優勝 新木久江さん

男性の部

四位 北村宗吾さん

特筆として女性の部で湖北支部の会員が、優勝・準優勝 男性の部で4位と優秀な成績で湖北支部のレベルの高さの証でした。

参加者 151名

内訳

大津	13名	草津	12名
守野	13名	甲南	10名
中部	25名	八幡	31名
湖東	15名	湖北	20名
高島	5名	草校	7名

男性の部

優勝 中部支部 松川宇一郎

2位 大津支部 門前重一

3位 中部支部 田井中達三

4位 湖北支部 北村宗吾

5位 守野支部 石田幸一

女性の部

優勝 湖北支部 藤田恵子

2位 湖北支部 新木久江

3位 大津支部 谷 正子



## 湖北支部 秋季グラウンドゴルフ大会

平成26年10月10日

於 長浜ドーム

競技は3ゲーム・24ホールマツチプレーで行われ参加者は57名でありました。今回は米原地区の方が上位を占められましたが長浜ドーム独特の早い球筋に慣れておられたことがひとつの要因かとも思います。尚来年度、春は5月 屋外グラウンド場、秋は10月 長浜ドームで開催を予定しております。ご承知のとおりグラウンドゴルフは誰でもできる簡単なゲーム、健康とふれあいのため来年も奮ってご参加ください。

順位	地区	氏名	スコア	H1
優勝	米原(坂田東)	宮口敏夫	41	3
準優勝	米原(息長)	松岡純次	46	2
3位	長浜北(西浅井)	増谷綱一	46	2
4位	長浜中(富永)	鐘居忠男	47	2
5位	米原(坂田東)	村岡紀代治	48	3
ホールインワン賞(指定5番ホール) 3名				
ラッキー賞 37個				



当日は前夜から雨が降り開催が危ぶまれましたが幸い朝方が

# 平成 26 年 四支部グラウンド ゴルフ大会

平成 26 年 10 月 22 日  
於 ふれあい運動公園  
(愛知川河川敷)

ら雨も上がり何とか開催できました。雨の影響も少なくまずまずのコースコンディションでプレーができました。会場は河川敷でフラットですがその中でも傾斜がありそれなりに難しいコースでした。湖北支部からの参加者はやや少なく寂しい状況でしたが、会場も遠い関係もあったかとおもいます。プレーは 3 ゲーム 24 ホールマッチで行われ、他支部の方と和気あいあいのうちに終了しました。  
当湖北支部の方は平均いいところまでいっておられ、もう少しで入賞できる方も数名おられました。

順位	支部	氏名	スコア	H 1
優勝	八幡支部	横川 知明	54	2
準優勝	八幡支部	赤尾 孝	55	2
3 位	湖東支部	山城 利之	55	2
4 位	八幡支部	岡谷 龍一	57	2
5 位	湖東支部	西村 裕	60	2
ホールインワン賞 (指定ホール 5 番) 5 名				
その他ラッキー賞 抽選で 35 名				

## 楽しかった日帰り研修旅行

# 郡上八幡と関善光寺参拝の旅を終えて



## 研修旅行を 終えて

支部長 桐畑 実

今回研修部で、関善光寺参拝と城下町郡上八幡を計画し、地区幹事様、会報「こほく」にて募集した処、41名(うち35期生7名)の多数の方々に参加していただきありがとうございます。

皆々様、限度ある飲み物(不足気味?)とお菓子でしたが、和気あいあいとしてお付き合いされ又、していただいたことうれしかったです。

なお35期生の方よりお名前不詳とのこと指摘を受けました。当然なことでも当方も参加者名とお顔が一致しない方が居られ、恥ずかしい限り、次回からは何らかの方法を考えたいと思います。

今後(次回)について旅行費用も高くなると予想されます。(アベノミクス・円安・消費税アップ)が参加費そのまま、少し上げる、又は持ち込み大歓迎等考えて行かねばと思います。又、次回も多数の方々のご参加を期待し、報告・お礼とさせていただきます。

# 日帰り

## 研修旅行

谷 幸子

秋たけなわの10月27日郡上八幡と関善光寺参拝の旅に参加しました。途中関刃物センターにも立ち寄り見学しました。

◎あやぶみし

空もいつしか晴れわたり

和気あいあいの

仲間を照らす

◎冗談を飛ばしつまは

刃物研ぐ

笑ひの中に

切れ味さやか

日本一高地でしかもトンネル数も日本一という東海北陸自動車道の紅葉を眺めつつ快適に走り抜け、刃物センターで思い思いの品を手には、関善光寺につきましました。

宗休寺の本堂では、まず阿弥陀如来像の大きさに驚き、隣の善光寺では日本で唯一の卍戒壇めぐりです。一本の綱を頼りに、真暗闇の中を探りつつ右に左に曲がりながら、五分足らずの闇と孤独を味わいました。更に山上の大梵鐘を打ち鳴らし、今日の健康に感謝しました。

長良川の澄んだ流れに見とれながら郡上八幡に向かいました。博覧館では、踊りや、町の魅力を紹介してもらい、町の散



策に出ました。

◎こんこんとわき出る水の

宗祇少

歴史忍びつ名水味はふ

◎町ぶらの

職人町に寺三つ

親鸞の教へ

ここに生きをり

青空のもと山上に輝く郡上八幡城に別れをつげ帰路につきましました。ペテランガイドさんの名調子に笑いをさそわれ楽しい一日でした。

桐畑支部長様や役員様のご配慮やご苦労のおかげで楽しい旅ができたことに感謝しつつ旅を終えたことでした。有難うございました。

# 研修旅行に

## 参加して

24期生 東山 啓子

レイ大35期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！皆さんのお祝いもかねて今回10月27日(月)日帰り研修旅行にご一緒させてもらいました。暑くもなく寒くもないほどほどの日差しを浴びてバスが発しました。ところどころで紅葉している山もあり、車窓からの景色もよろしく又ガイドさんの流暢な案内にもひきつけられる思いでした。

関刃物センターでのおもしろおかしく役に立つ話に耳を傾けました。刃物は新しいのが一番良く切れると思っていました。研ぎ方によって長持ちし良く切れるのだと聞きました。

関善光寺は日本唯一の卍戒壇めぐり。綱を頼りに右往左往する廊下でしたが皆んな真剣な思いで無事お参りできました。郡上八幡博覧館ではパネルを使つての巧みな説明、おどりの実演など娘さんの手足の動きに驚きました。大正時代の建物をそのまま残し、伝統文化を町の誇りとされているところが感心したことでした。



# 第7回地域活動

## 事例発表会について

### 湖北支部から

中川さん

標記について平成27年1月23日(金)近江八幡市ひまわり館にて各支部1件づつで開催されます。

当湖北支部からびわ地区(南)中川登美子様(34期健レク)にお願いしました。中川様は県広報誌「滋賀プラスワン」7・8月号に健康寿命をのばそうプロジェクトで紹介され地域でがんばるプロジェクト、転倒予防教室、いきいき体操と題して活動状況が、又、会報「こほく」にも寄稿していただきました。今回の発表・画像・実技も含め楽しく発表されることと思ひ聴講者(参加者)を募集します。応援よろしくお願ひします。

### 訃報の連絡 知らせて下さい!

誰が、何時、どこで  
桐畑まで  
☎0749-86-2324

緑友会

せん定で地域に貢献

33 期園芸 新道 貞雄

「緑友会」は、旧長浜市内で公共施設や高齢者宅の庭木の手入れ等の活動をしているボランティアグループである。活動は、基本的に月 2 回。設立は平成 16 年 4 月。

メンバーは 50 ～ 70 代の 12 人。うち 4 人が「レイカディア大学」園芸学科の卒業生で、他の 8 人は長浜市で平成 14 年に一年間実施された生涯学習講座で庭木の手入れ講座を受講。メンバー全員、各々の学習の成果を継続して生かし深められる生涯体験学習の場として、また身に付けた技術を生かして社会に貢献したいとの思いから活動してい



福祉施設にて門松作りの指導



長浜公民館「六角館」門松設置

る。メンバーの中には、造園に関する資格を有するせん定のオーナーリタイマーもあり、皆で教え合い、学び合っている。

活動内容としては、庭植え樹木の手入れの他に 5 月には森林（竹藪）の間伐を、また冬季には松の雪吊りや、正月の門松作りも手がけている。他に、最近では長浜市社協ボランティアセンターからの紹介で、レイカディア大学の地域活動体験学習の場として希望される学生を迎えている。

メンバーは各々が自分たちの生きがいとして活動しており、作業の合間の休憩中は、お互いの近況を語り合うなど和気あ

あいとした雰囲気です。特に楽しいひとときである。また、作業が終わって庭がさっぱりし、きれいになると気持ちもよく、仲間と達成感が味わえ、作業の疲れも忘れさせてくれる。

地域探訪

下坂氏館 主屋保存修理事業見学

日時 11 月 25 日 (火)  
10 時から 1 時間程度  
場所 長浜市下坂中町

内容 「不断光院」で説明会後 解体中の主屋見学

当日はあいにく小雨が降り、足元が悪い中での見学会となりました。下坂保存顕彰会の方の主催で行われるという情報を得て、当レイカディア大学同窓会のメンバーも同席お願いして実現いたしました。顕彰会の方 8 名 同窓会 17 名 総勢 25 名が参加させていただきました。当初から 15 名ということで（工事のため人数制限）申し込みを受け付けたいしましたが、それ以上に追加の申し込みがあり、やむを得ずお断りすることとなり心苦しかったです（支部長談）

先ずは本日の説明と案内役をされる長浜市文化保存課々長としての下坂氏館顕彰会の方と当方の桐畑支部長の紹介と挨拶があ

せん定作業は屋外での作業なので、各自が無理をせず安全と健康に留意しながら、楽しく活動を続けていくことが「緑友会」のモットーである。



りました。

下坂氏は近江国坂田郡下坂庄（現在の下坂中周辺）の国人領主で、こうした小領主は農民とのかかわりを保つため、集落から離れた山や丘でなく、村落の中心に館を構えているという大きな特徴がありました。長浜市の南部や北部の平野には、下坂氏のような小領主が多数いました。戦国時代に入ると、京極氏



から浅井氏へと湖北の支配者が変わりますが、平地にある館の位置は変わることはありませんでした。600 年以上たった現在でも、こうした領主の館の姿を見ることが出来ます。（説明資料より）

当日は、時あたかも紅葉の季節、樺の大樹にまつわり付く「つた」の赤い葉を見上げながら、遙か過ぎ去りしうつろいに想いを馳せ、館完成の折には是非また訪れ、どのように映るかなから楽しみに待ちたいと思う。ただ今日こうして解体されたありのままの建屋、もう二度と目にしない（これからは元に復元されてると或る面今の状態は隠れてしまうのではないか）と思うと感慨ひとしお、後ろ髪をひかれる思いで、屋敷を後にいたしました。